

市長との約束 2025



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

上下水道部技監

遠藤 典夫

約束内容	市街地における浸水対策の推進
達成目標	近年の気候変動による豪雨の頻発化や開発などの土地利用形態の変化に伴う浸水（内水）被害の軽減を図るため、公共下水道の浸水対策を推進します。 ①雨水管理総合計画に基づき、最優先対策地区の事業化に向け事業計画の変更手続きを進めます。 ②現在、事業計画区域となっている区域の雨水施設の整備を進めます。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	①古川地域の事業計画変更は、令和8年4月に大江川が移管されてから速やかに行う準備をしております。多田川の流域治水に関しては、国や県、新設予定の流域治水課とも連携し、浸水被害軽減に向けて下水道事業に限らず様々な対策を検討していきます。 ②工事については松山地域の千石堀地区及び古川地域の李塚第1排水区を進めており、一部は繰越となります。また、国の補正もあり、R8年度分を前倒して今後発注予定であり、引き続き計画的に雨水対策を進めてまいります。

約束内容	上下水道施設の強靱化の推進
達成目標	上下水道は市民生活に欠くことが出来ないライフラインであり、地震などの自然災害からの影響を最小限にとどめるため、耐震化を進めるとともに老朽化した施設の改築更新を図ります。 ①上水道事業では老朽管更新事業と水道施設耐震補強事業を進めます。 ②下水道事業では、ストックマネジメント計画に基づき、施設や管路の改築更新を進めます。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	①上水道の更新の18工事のうち、2工事は国・県など関係機関協議に期間を要したため、次年度に繰越す見込みとなった。 耐震補強工事中の鷹待嶽配水場は令和8年度完成に向けて工事中であります。作業ヤード確保のための借地契約までに期間を要したため、全体工程として遅延しておりますが、フォローアップを行いながら工事を進めております。 ②下水道は改築更新や管渠新設を進めており、入札不調・中止や国の補正もあり、3工事が繰越予定です。

約束内容	効率的な維持管理及び事業運営に向けた整備計画と施設管理の見直し
達成目標	<p>下水道事業は効率的で効果的な汚水整備を図るとともに既存施設の管理手法の見直しを検討します。</p> <p>上水道事業は経営戦略を今年度に見直しを進めます。</p> <p>①下水道事業では県の基本構想を踏まえながら、汚水整備基本構想の見直しの検討を引き続き進めます。また、下水道施設の再構築に向けて計画づくりを進めます。</p> <p>②上水道事業では、物価上昇等を踏まえ、効率化、経営健全化の取組方針などを盛り込み、経営戦略の見直しを進めます。</p>
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	<p>①下水道基本構想は年度内に見直し完了予定であり、それを踏まえて来年度は下水道全体計画の見直し（先ずは古川・志田処理区）を進める予定です。</p> <p>②水道事業経営戦略は、7月の庁議を経て、審議会や常任委員会などへの説明、パブリックコメントも行い、年度内の策定及び公表予定となりました。</p> <p>今後も将来にわたり持続可能な上下水道事業を目指します。</p>

約束内容	上下水道事業の一体性の醸成
達成目標	<p>水道行政が国土交通省に移管されたこと、また、本市においては組織の統合から5年経過したこともあり、災害時における上下水道の一体的な危機管理体制づくりを進めます。</p> <p>①災害時における上下水道の機能確保のため、上下水道一体となった復旧の取り組みを進めます。</p>
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★☆
達成状況	<p>①今年度の渇水対策では国・県・改良区など関係機関を含めた、連絡会議が開催され鳴子ダムや漆沢ダム、岩堂沢ダムと連携しさらには市民の節水協力などから農業用水及び水道水の確保ができた。</p> <p>12月には国が主体となり県・市などが連携し「渇水対応タイムライン」が策定されたことから、今後も渇水時における円滑な情報共有と関係機関との連携強化が図られます。</p> <p>また、災害時には上下水道部として一体で復旧対応することとしておりますが、各施設の管理業者との連携などから上下水道のそれぞれの役割のもと体制をとっております。</p>